

2008年3月期 中間決算 及び
2008年3月期 通期業績見通し
説明資料

インフォコム株式会社
2007年11月13日

1. インフォコムグループの事業概要
2. 2008年3月期 中間決算
 - (1) 連結業績
 - (2) 株主の状況
3. 2008年3月期 通期業績見通し
 - (1) 短期計画方針と中間決算までに生じた課題と対策
 - (2) セグメント別通期業績見通し
 - (3) 通期業績見通しと経営指標

2008年3月期 中間決算

1. インフォコムグループの事業概要



ソリューション・セグメント

- ・エンタープライズ事業 大手企業のIT化に関する企画～システム構築・運用にいたるシステム機能のアウトソーシングサービス提供
- ・GRANDIT・ECM事業 完全Web-ERPパッケージ「GRANDIT」の他、自社開発パッケージ(ECM)を中心にソリューション提供
ECM: Enterprise Contents Management
- ・モバイル事業 主に携帯電話事業者を対象としたソリューション提供
- ・ヘルスケア事業 医療機関を対象としたオーダリング、放射線関連のパッケージを中心としたソリューション提供
- ・その他 コールセンター向け音声関連ソリューションや緊急通報/安否確認システム「エマージェンシコール」の提供

サービス・セグメント

- ・データセンター事業 自社保有のデータセンターを基盤に、ネットワークの構築・運用、顧客システムのハウジングサービスやDR(Disaster Recovery)対策等のデータセンターフルアウトソーシングサービス提供
- ・ネットビジネス事業 携帯電話利用者向けに音楽、書籍、コミック等のコンテンツ配信サービス提供
CD/DVD、スイーツ等のe-コマース

フロンティア・セグメント

- ・特許システム 特許、知的財産部門向けソリューション提供
- ・デジタルアーカイブ 公文書館、博物館、図書館向けソリューション提供
- ・ケム&バイオ 創薬支援、研究支援パッケージの導入・販売、バイオ関連共同研究展開
- ・セキュリティ サーバーやネットワークのセキュリティ対策や不正侵入防御システム等のセキュリティソリューション提供

2. 2008年3月期 中間決算

(1) 連結業績 前年同期との対比による概況

百万円単位

	07/3期 中間	08/3期 中間	増減	
			金額	率
売上高	14,476	13,813	663	4.6%
営業利益	164	944	780	-
営業外損益	12	32	20	166.6%
経常利益	152	912	760	-
特別損益	112	398	286	-
当期純利益	343	1,023	680	-

前年同期比 売上面 微減、利益面 大幅減

主たる要因：ソリューション・セグメント
【売上高、営業利益、経常利益】

- ・顧客の内部統制機能強化方針により、要件追加、検収期間長期化
- ・GRANDITを核としたSI案件の大型化、長期化

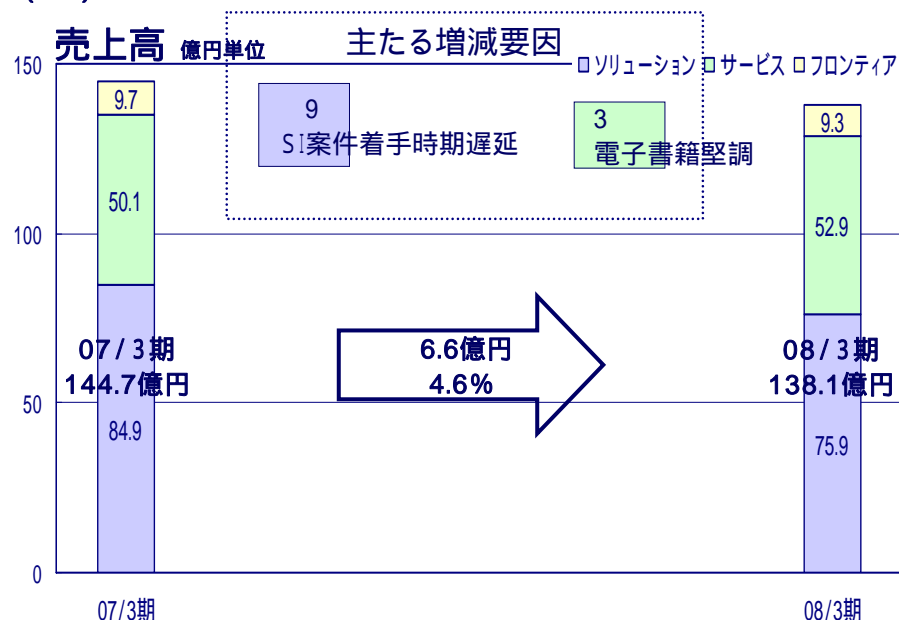
コストの大幅増加、案件着手時期の遅延

【当期純利益】

- ・経常利益の減少
- ・大型SI案件の不具合による引当金計上

2. 2008年3月期 中間決算

(1) 連結業績 前年同期との対比による売上高と営業損失の概況



主たる減少要因

【ソリューション・セグメント】

1. SI案件着手時期遅延

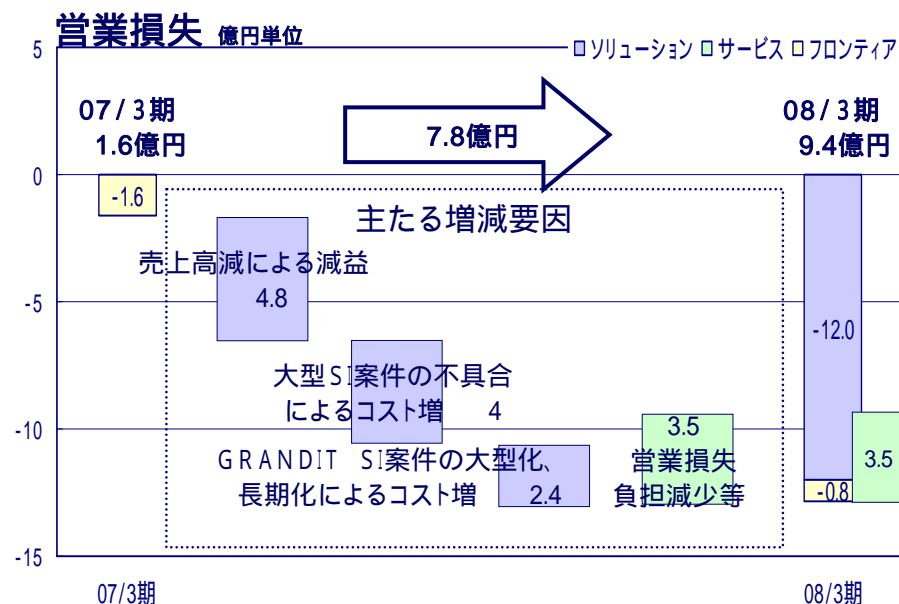
・顧客における内部統制機能強化方針により、要件追加や検収期間の長期化

主たる増加要因

【サービス・セグメント】

1. ネットビジネス事業における新サービスの寄与

・携帯電話向け電子書籍配信サービスが堅調に推移



主たる減少要因

【ソリューション・セグメント】

1. 売上高減による減益

2. 大型SI案件の不具合によるコスト増

3. GRANDITを核としたSI案件の大型化、長期化によるコスト増

主たる増加要因

【サービス・セグメント】

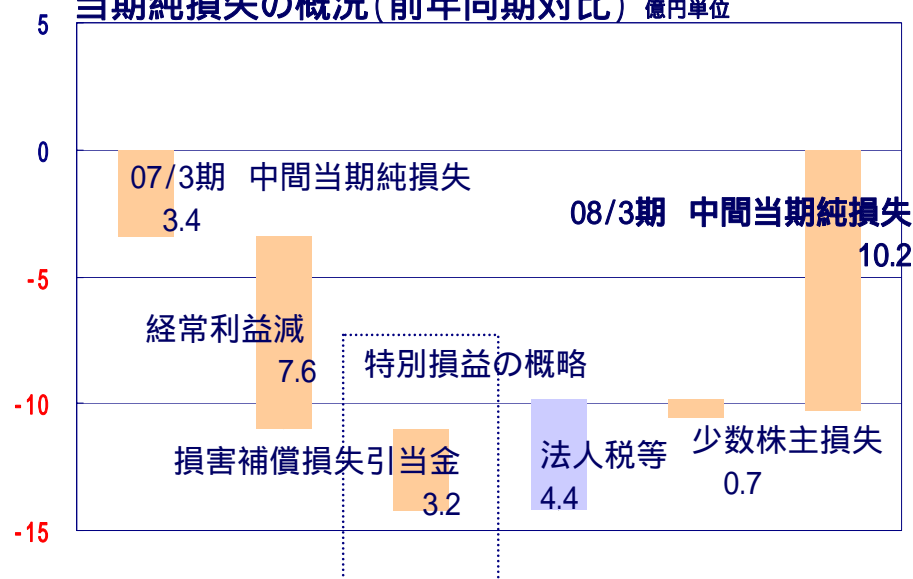
1. ネットビジネス事業における事業構造改革効果発現

・(株)ニユース・サービス・センターの当社保有全株式譲渡(06/12)による営業損失負担の減少及び効率化

2. 2008年3月期 中間決算

(1) 連結業績 前年同期との対比による当期純損失の概況 及び 構造

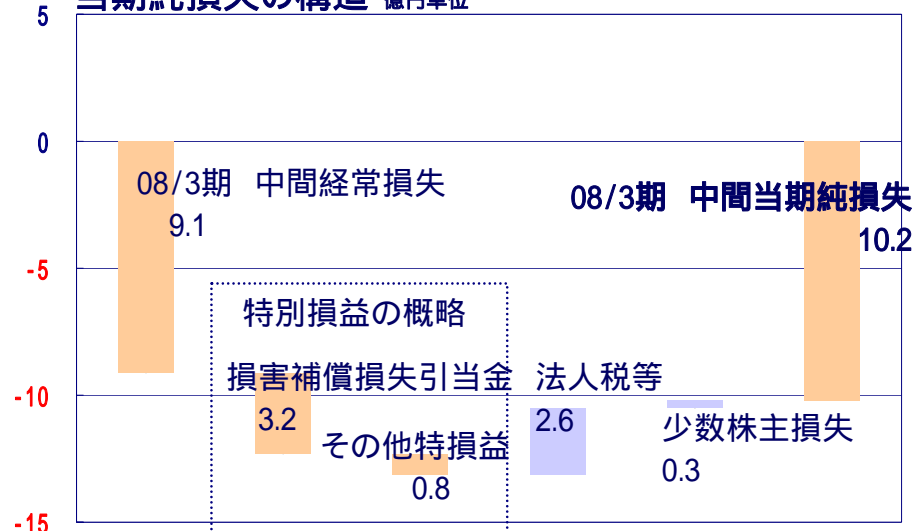
当期純損失の概況(前年同期対比) 億円単位



主たる減少要因

1. 経常利益の減少
2. 大型SI案件の不具合に伴う損害補償損失引当金計上

当期純損失の構造 億円単位

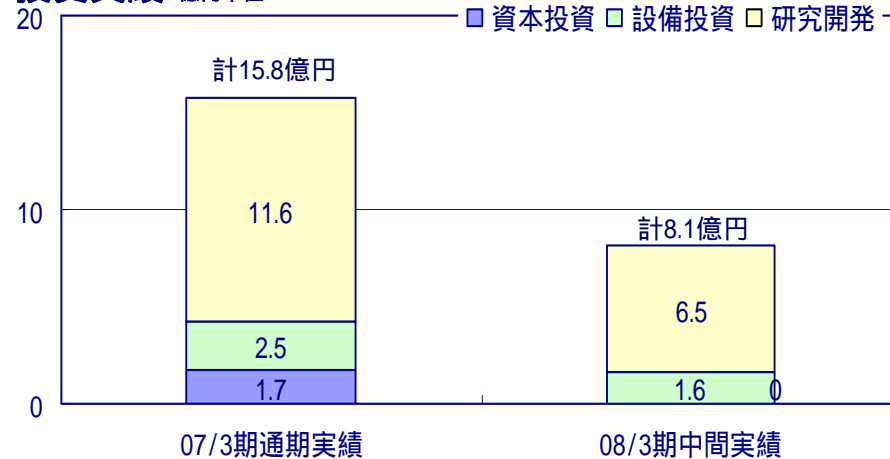


特別損失の概況

1. 損害補償損失引当金の計上

2. 2008年3月期 中間決算 (1) 連結業績 投資実績

投資実績 億円単位



設備投資の概況(当中間期1.6)(億円単位)

- | | |
|----------------------|-----|
| 1. 新横浜データセンター空調設備工事等 | 0.7 |
| 2. その他ハードウェア等のリプレース等 | 0.9 |

研究開発の概況(当中間期6.5)(億円単位)

- | | |
|------------------------|-----|
| 1. GRANDITの機能強化 | 2.3 |
| 2. 緊急通報/安否確認システムの機能強化 | 0.9 |
| 3. ヘルスケア事業パッケージの機能強化 | 0.9 |
| 4. ECMパッケージソフトウェアの機能強化 | 0.4 |

Enterprise Contents Managementの略
日本版SOX法、内部統制機能の強化に対応する企業内デジタルコンテンツ管理ソリューション

07/3期の概況(億円単位)

資本投資の概況(07/3期末1.7)

- | | |
|------------------------|-----|
| 1. ドゥマン社、イメージシティ社への出資等 | 1.7 |
|------------------------|-----|

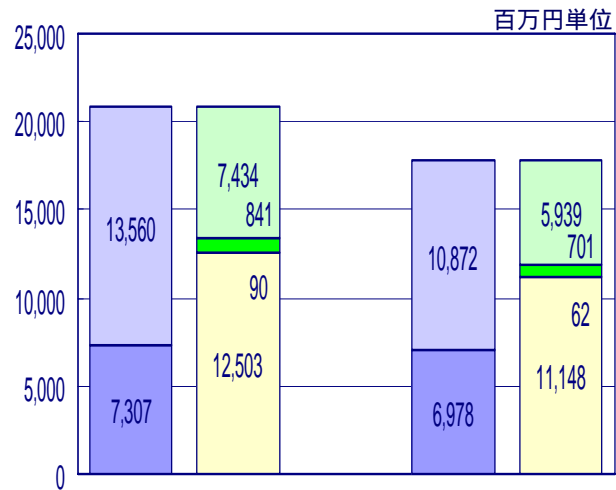
設備投資の概況(07/3期末2.5)

- | | |
|------------------------|-----|
| 1. 新横浜データセンターセキュリティ強化等 | 1.0 |
|------------------------|-----|

研究開発の概況(07/3期末11.6)

- | | |
|--------------------------|-----|
| 1. 緊急通報/安否確認システムバージョンアップ | 4.0 |
| 2. GRANDIT機能強化 | 3.6 |

2. 2008年3月期 中間決算 (1) 連結業績 貸借対照表



百万円単位

	07/3期末	08/3期中間
流動資産	13,560	10,872
固定資産	7,307	6,978
資産計	20,868	17,851
流動負債	7,434	5,939
固定負債	841	701
負債計	8,275	6,640
少数株主持分	90	62
純資産-少数株主持分	12,503	11,148
自己資本比率	59.9%	62.4%

07/3期末との主たる増減要因(億円単位)

総資産の減少(07/3期末比 30.1)

流動資産(07/3期末比 26.8)

- ・回収等による売掛金の減少 32.4
- ・たな卸資産の増加 +5.3

(下期販売予定の仕掛品で、毎中間期に増加傾向)

固定資産(07/3期末比 3.2)

- ・自社パッケージ・ソフトウェアの増加 +1.6
- ・償却等によるのれん代の減少 2.4
- ・長期差入保証金の増加 +2.7
- ・収用補償金の流動資産への振替 5.2

流動負債(07/3期末比 14.9)

- ・買掛金・未払金の減少 14.6
- ・納税による未払法人税等の減少 6.7
- ・年間保守料受領等の前受金増加 +2.4
- ・損害補償損失引当金の計上 +3.2

固定負債(07/3期末比 1.4)

- ・連結子会社による長期借入金返済 1.0

2. 2008年3月期 中間決算

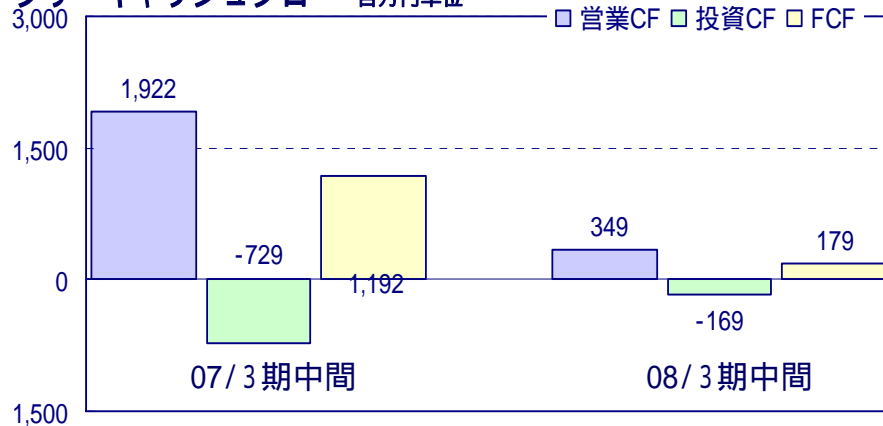
(1) 連結業績 キャッシュフロー

百万円単位

	07/3期 中間	08/3期 中間	増減
営業キャッシュフロー	1,922	349	1,573
投資キャッシュフロー	729	169	560
フリーキャッシュフロー	1,192	179	1,013
財務キャッシュフロー	260	284	24

現金及び現金同等物 に係わる換算差額等	5	1	7
現金及び現金同等物 の増減額	926	103	1,030
現金及び現金同等物 の期首残高	1,343	2,950	1,607
現金及び現金同等物 の期末残高	2,269	2,846	576

フリーキャッシュフロー 百万円単位



営業キャッシュフロー(当中間期3.5)(億円単位)

- ・税引前当期純損失(13.1)(経常利益 9.1 特別損益 4.0)
- ・減価償却/のれん償却の算出上の調整(6.3)
- ・債権債務の減少(23.9)(債権33、債務 9.1)
- ・棚卸資産の増加(5.3)
- ・法人税等の支払(7.3)

前年同期比差異 15.7の主たる事由について

税金等調整前当期純損失差異	10.4
引当金計上	+3.2
その他負債の増加差異	9.1

投資キャッシュフロー(当中間期 1.6)(億円単位)

- ・収用補償金の収入(7.9)、土地売却による収入(1.0)
- ・設備投資の支出(7.8)、差入保証金の支出(2.7)

前年同期比差異+5.6の主たる事由について

収用補償金の収入	+7.9
差入保証金支出等	2.5

フリーキャッシュフロー(当中間期1.7)(億円単位)

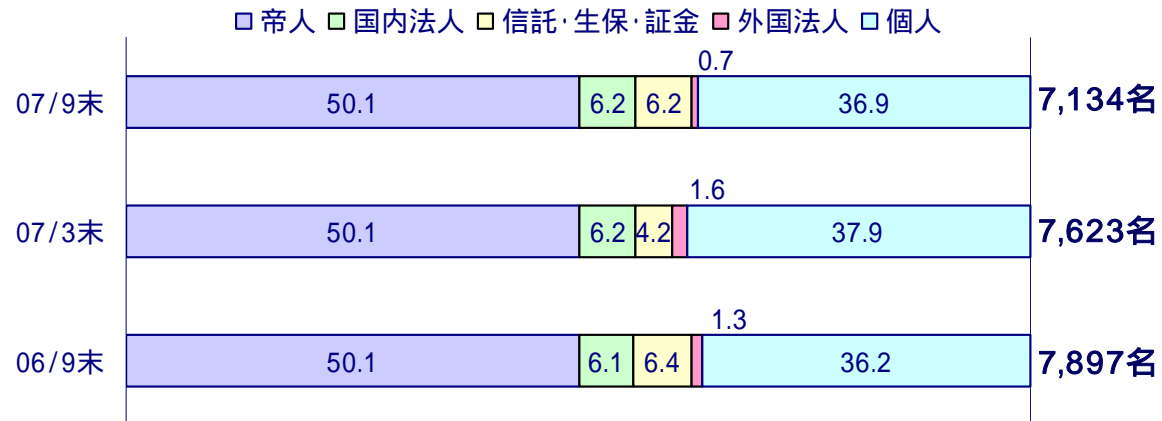
- ・前述、営業CF/投資CFよりFCFは1.7
- 前年同期比 10.1の減少

財務キャッシュフロー(当中間期 2.8)(億円単位)

- ・子会社の長短借入金の減少(0.5)
- ・配当金の支払(2.3)

2. 2008年3月期 中間決算 (2) 株主の状況

株主の状況 %、株主人数表記



関連する会社による保有状況

帝人株式会社	72,200株	50.13%
双日株式会社	7,200株	5.00%

2008年3月期
通期業績見通し

2. 2008年3月期 連結業績見通し

(1) 短期計画方針と中間決算までに生じた課題と対策

短期計画方針

1. 3ヵ年経営計画

「新成長事業を中核とした成長戦略」の変更

(1) 成長を牽引する事業

GRANDIT・ECM、ヘルスケア、データセンター

(2) 再構築を行う事業

モバイル、ネットビジネス、フロンティア

2005年6月に公表した3ヵ年経営計画「新成長事業」は、GRANDIT、携帯電話ポータル、フロンティア

2. 事業基盤の再構築

(1) 製品、SI、サービスの品質管理体制の見直し

(2) コンプライアンス体制の維持・強化

(3) グループ会社の経営体制強化

イメージシティ社、SYSCOM(USA)、インフォベック社

3. 飛躍的成長

(1) 包括的業務提携の検討

中間期における状況

1. 事業戦略の変更

「新成長事業を中核とした成長戦略」の変更

(1) 経営資源の重点投入、収益性向上施策を実施

(2) 事業基盤の再構築については着実に進捗

2. 事業基盤の再構築

(1) ソリューション・セグメントで生じた課題はあるが、概ね計画通り

(2) 計画通り

(3) 計画通り

3. 飛躍的成長

(1) 検討継続中

2. 2008年3月期 連結業績見通し

(1) 短期計画方針と中間決算までに生じた課題と対策

中間決算までに生じた課題と対策

ソリューション・セグメントで生じた大幅な減益

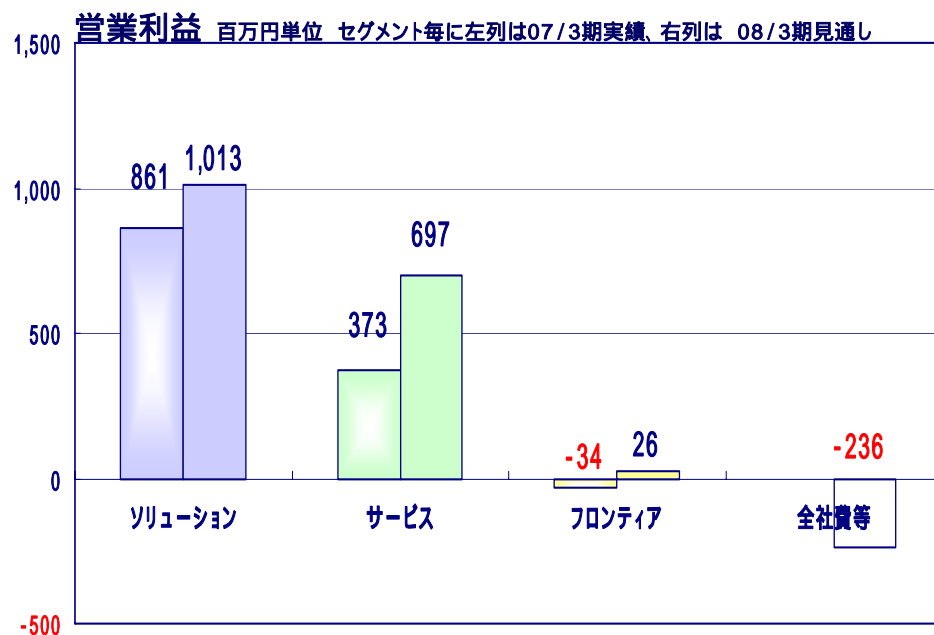
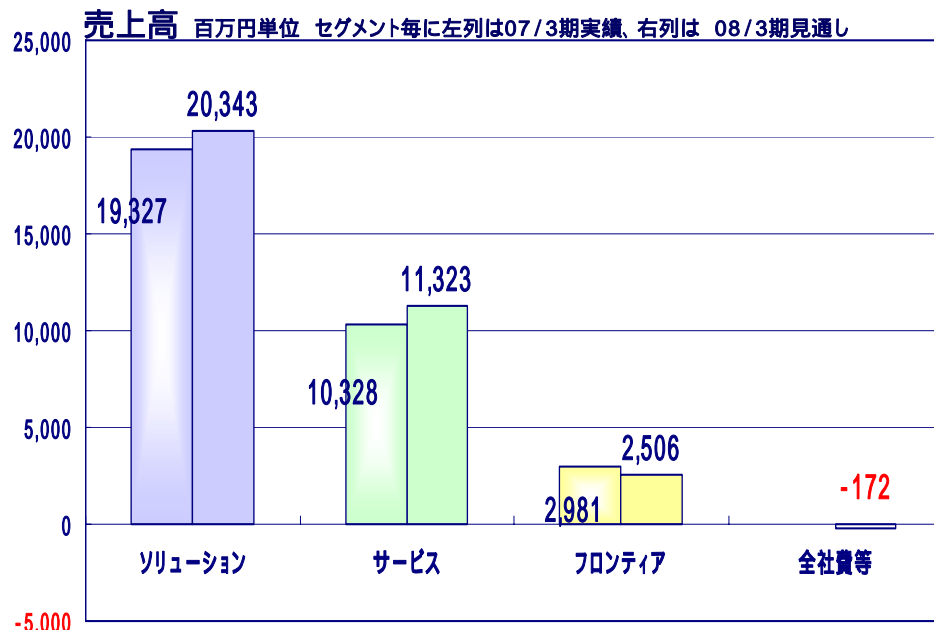
要件追加や検収期間長期化による収益計上時期遅延
GRANDIT SI案件の大型化・長期化による大幅コスト増加
大型SI案件で生じた不具合による引当金計上

中間決算までに各々に対する対策を実施

営業・開発一体となった上流工程(コンサル・要件定義)強化
プロジェクトマネジメント体制の強化(専任化)
全社品質管理体制を見直し、強化策推進

下期は当初計画の通り

2. 2008年3月期 通期業績見通し (2) セグメント別通期業績見通し



ソリューション・セグメント

(1) 成長を牽引する事業への経営資源の傾斜投入

ヘルスケア事業
事業運営の効率化 OEM供給の推進
事業規模の拡大 多角的業務提携推進
GRANDIT・ECM事業
数万社以上と試算される内部統制導入対象企業向けに
攻めのマーケティング

(2) 収益性改善

プロジェクト管理の強化を通じ、収益性改善を図る

サービス・セグメント

(1) データセンター事業の大幅拡大

稼働率30%から50%へ(ブレイクイーブン)
ISO20000 取得等により引き合い堅調
UCOM社との事業提携
営業力強化、新横浜センター機能強化投資

(2) ネットビジネス事業戦略の再構築

新規コンテンツ(コミック)の積極拡大
事業運営の効率化
モバイルに分野を限定しない新サービス企画

フロンティア・セグメント

(1) 個別事業毎の将来ビジョン構築

2. 2008年3月期 通期業績見通し (3) 通期業績見通しと経営指標

百万円単位

	07/3期	08/3期 見通し	増減	
			金額	率
売上高	32,637	34,000	1,363	4.2%
営業利益	1,201	1,500	299	24.9%
経常利益	1,222	1,500	278	22.7%
特別損益	1,325	-	-	-
当期純利益	1,596	500	1,096	68.7%
調整後 当期純利益	266	500	233	87.4%

	07/3期	08/3期 見通し	増減	
			金額	率
1株当たり 配当金	1,600円	1,800円	200円	12.5%
配当性向	14.4%	51.8%	-	-

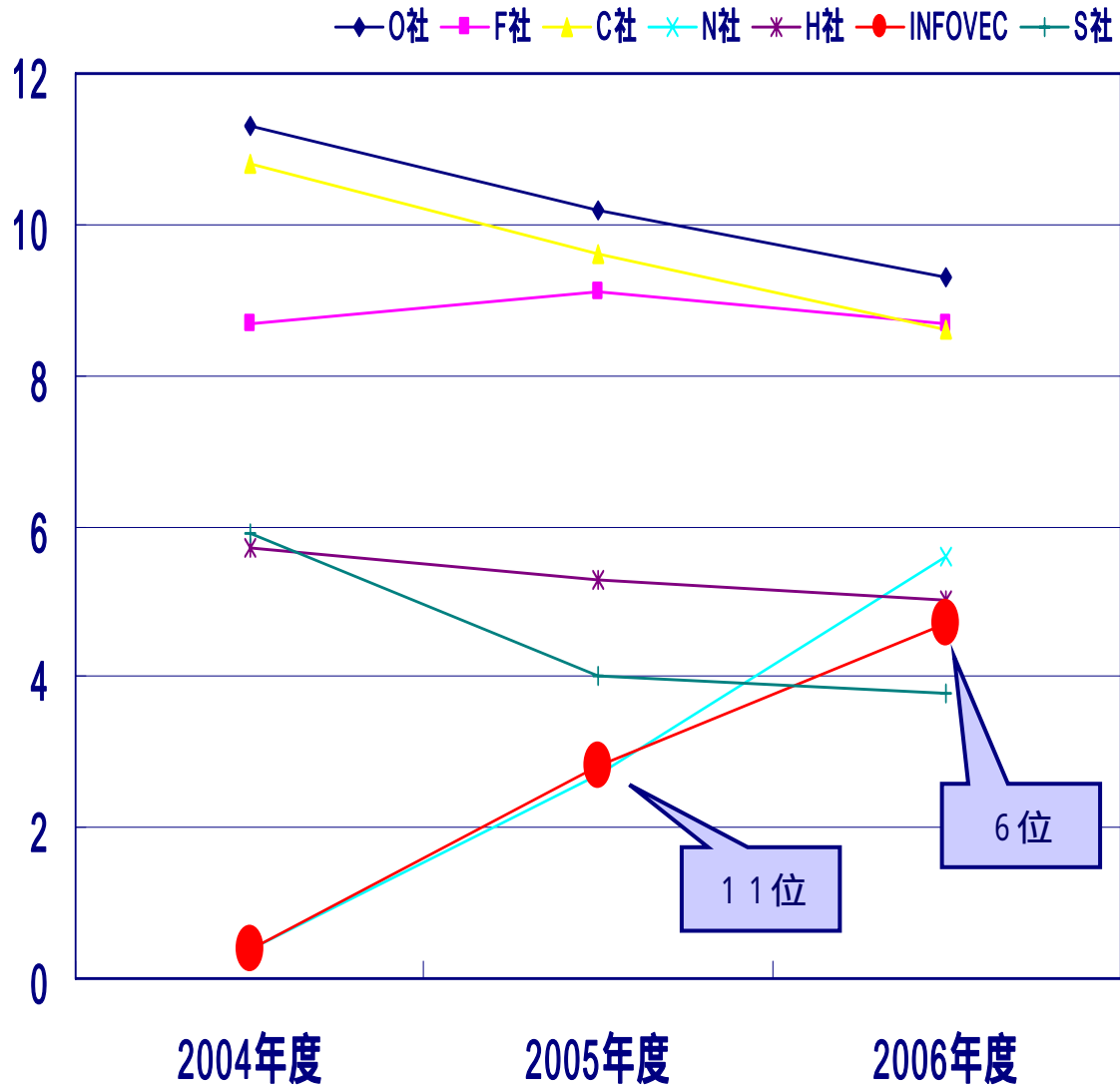
07/3期における新横浜センター施設の一部敷地の収用等による連結特別利益を含む1,325百万円を差引いた調整後の当期純利益

	04/3期	05/3期	06/3期	07/3期	08/3期 見通し
売上高成長率 (%)	-	0.7	5.0	4.1	4.2
営業利益率 (%)	9.0	6.8	4.7	3.7	4.4
一人当たり売上高 (百万円)	36	34	28	29	26.7
一人当たり営業利益 (百万円)	3	2	1	1	1
株主資本当期純利益率 (ROE) (%)	17.9	9.3	4.9	13.5	4.0
総資本当期純利益率 (ROA) (%)	9.7	5.2	2.8	8.0	2.3
総資本営業利益率 (ROA) (%)	17.7	12.0	7.8	6.0	7.0
1株あたり当期純利益 (円) (04/3期72,000株、以降144,000株)	22,450	6,585	3,635	11,084	3,472
配当性向 (%)	9.8	18.2	33.0	14.4	51.8

事業のご紹介

中堅企業向けパッケージ市場シェア動向 (%)

「UNIX・Windows対応基幹業務パッケージソフトの市場展望」(2006年度版、2007年度版 株式会社ミック経済研究所)



GRANDIT

Webベースで作成した中堅・大企業向けERP
 会計、販売、製造、給与等の基幹業務機能
 ECやEDI、BI、ワークフロー等の周辺機能も統合
 内部統制への対応も実装
 日本の業務、商習慣に合致した実用的で使える機能

GRANDIT販売網の強化

ベニックスソリューションがコンソーシアム加盟、12社に
 ビジネスパートナー総数は46社体制に

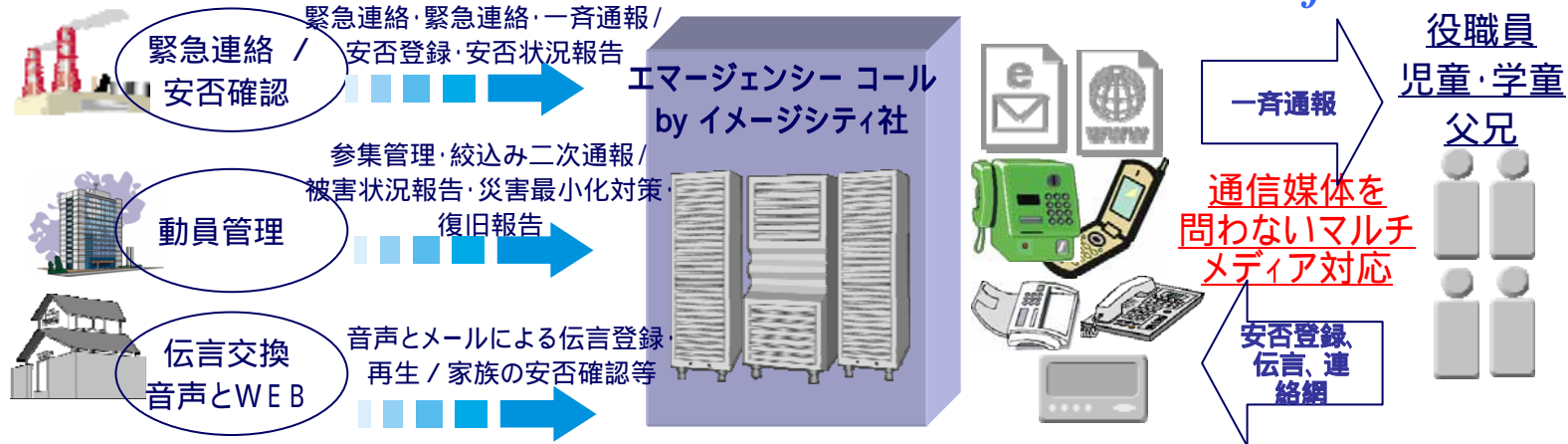
市場動向

市場は年率10%程度の成長を持続
 ・上位企業がシェア下落傾向
 ・GRANDITは着実に成長

GRANDITのアドバンテージに変化は無い

多数の日本企業によるコンソーシアムで開発
 次世代アーキテクチャー(完全Web対応)
 内部統制への対応も実装

気象庁が発表する地震速報や地震確定情報を
 自動通報するOption機能も追加



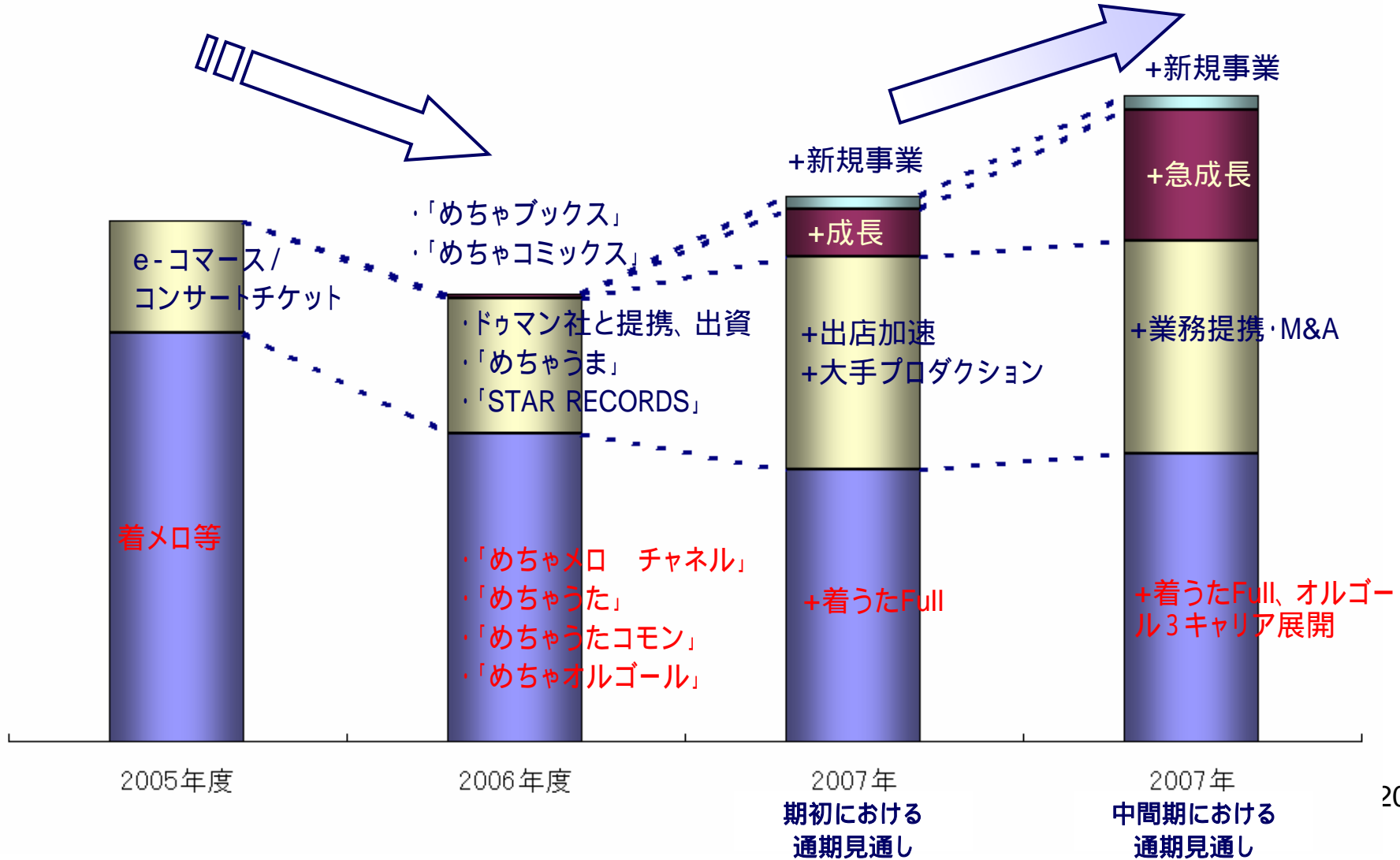
業界	納入実績
農業、林業、漁業、鉱業、建設業	10社
製造業	17社
電気、ガス、熱供給、水道業	15社
情報通信業	22社
運輸業	5社

業界	納入実績
卸売、小売、商社	24社
金融、保険業	42社
サービス業、その他	18社
公共	10社
文教	13校

納入実績社数 約170社

利用者数 約78万人

2006年度を売上の底とするturnaroundを実現
電子書籍・Eコマースの成長



新たな事業への取り組み エンタープライズサーチ・ソリューションの取り組み
 膨大な情報をピンポイントで検索、組織化し、整理する自社パッケージ、ECM事業で展開

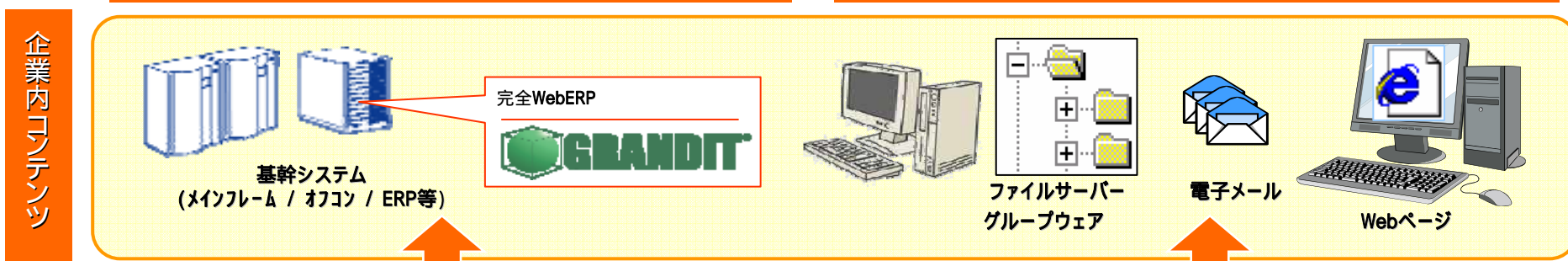


ECM (Enterprise Content Management) ソリューションの提供を通じ、蓄積した豊富なノウハウや経験をベースに、新たなコンセプトを搭載した自社開発ソリューションをラインアップ。

- | | | |
|---------|---------------------------------|----------------------------|
| Concept | Enterprise Content Management | 企業における会計情報、文書・記録類の統合管理を実現 |
| Concept | Enterprise Search | 蓄積される膨大 & 有益なコンテンツを横断検索 |
| Concept | Enterprise Content Organization | 膨大なコンテンツを分類、組織化することで仮想的に統合 |

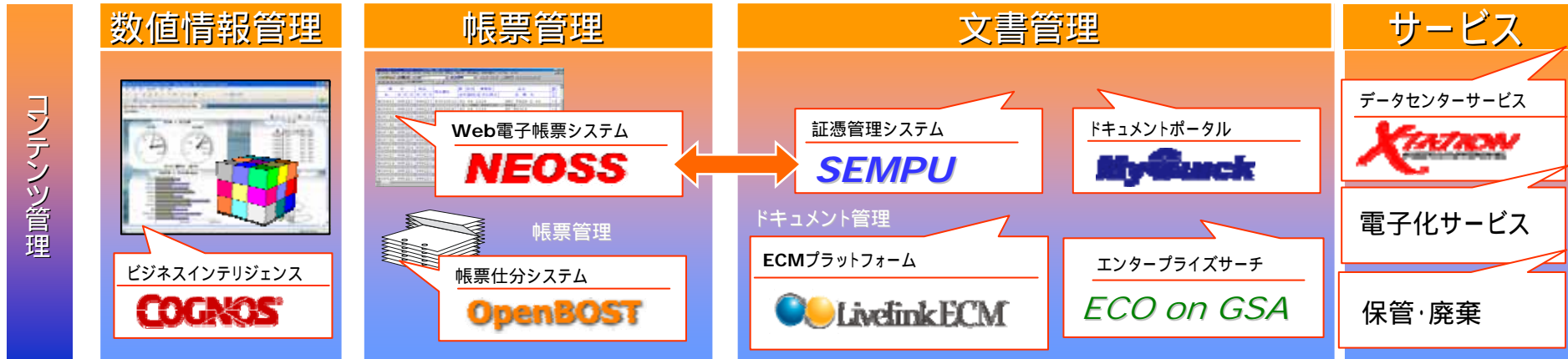
定型コンテンツ(数値情報)

非定型コンテンツ(テキスト、イメージなど)



基幹データと文書データの融合

- コンサルティング H/W サーチ コラボレーション ライフサイクル



コンテンツ管理

業績見通し等に関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

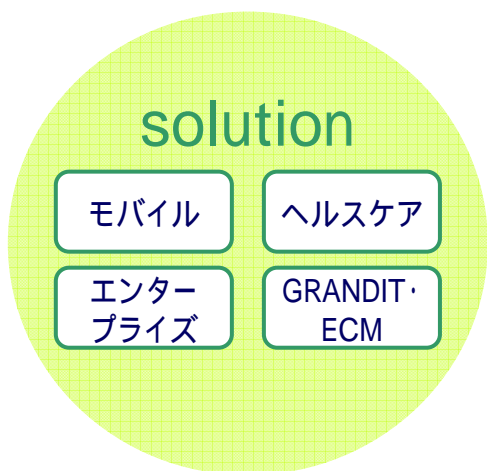
本資料に記載されている業績見通しは、平成19年10月30日に公表した弊社の「平成20年3月期 中間決算 短信」に関する発表に基づくものです。

本資料に記載された会社名及び製品名等は該当する各社の登録商標または出願中の商標です。

インフォコムグループ 基礎情報

インフォコムグループのセグメント構成

当社の3つのセグメントで展開される多彩なソリューションやサービス。
インフォコムグループはITの進化を通じて、社会のイノベーションに貢献します。



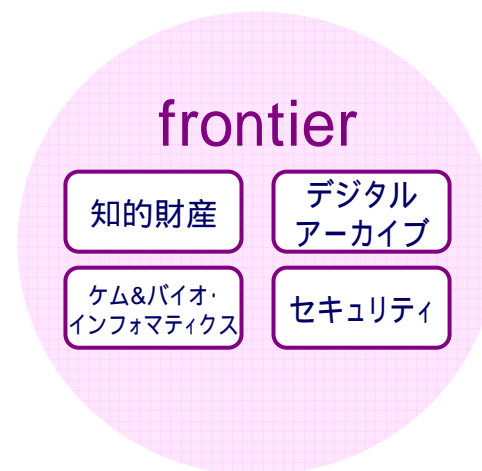
ソリューション・セグメント

携帯電話事業者向け、企業向け、医療・公共向けITサービスを始め、次世代web-ERP「GRANDIT」や携帯電話を有効利用したITサービスおよび音声関連ソリューションの提供。



サービス・セグメント

新横浜データセンターを核とした高品質かつ高信頼性を誇るデータセンターサービス「X-TATION(エクステーション)」の提供のほか、着信メロディ/着うた/電子書籍などのハイクオリティで充実したコンテンツ配信サービスおよびCD/DVD、スイーツなどを販売するe-コマースサイトを展開。



フロンティア・セグメント

知的財産、デジタルアーカイブ、ケム&バイオ・インフォマティクス、セキュリティなどのソリューションやサービスの提供とこれらの事業の育成および新たに展開する事業の企画・推進。

連結の範囲及び持分法適用関連会社



	07/3期 3月末	増	減	08/3期 9月末
連結子会社数	10	-	2	8
持分法適用非連結子会社、 及び、関連会社数	2	-	-	2
合計	12	-	2	10

【連結子会社増減の内訳】

(株)インフォコム西日本を存続会社とする(株)インフォコム四国の吸収合併(2007/4)

米国Lighthouse Data Solutions,LLC.の清算終了(2007/9)

ソフトウェアの開発

医薬品化合物関連データの販売

インフォコムグループの構成



インフォコム株式会社

東京都千代田区神田駿河台3-11

携帯電話事業者、一般消費者、官公庁、教育研究機関、医薬医療関係の機関・企業、その他一般企業の顧客に対して情報システムの企画・開発・コンサルテーションなどの各種ITソリューションの提供

携帯電話などへのコンテンツ提供、情報通信システムの運用・管理などの各種サービスの提供

ソリューション

- 株式会社インフォコム西日本** ソフトウェアの開発
山口県周南市御幸通り1-1
- インフォベック(株)** 次世代国産ERPの開発・販売
東京都千代田区神田駿河台3-11
- イメージシティ(株)** 金融情報配信サービス、緊急連絡システム販売、ソフトウェアの開発、SIサービス
東京都台東区池之端1-2-18
- ログイット(株)** 音声録音システムなどの販売・開発
東京都豊島区南大塚2-25-15
- ホワイトパジャマ・ジャパン(株)** コンタクトセンターソリューションの提供
東京都千代田区神田駿河台3-11

サービス

- インフォコムサービス(株)** 情報処理サービス
東京都千代田区神田小川町2丁目12番
- SYSCOM(USA)Inc.(米)** ネットワークインフラSI
1 Exchange Plaza 55 Broadway,17th Fl. New York,NY 10006
- (株)ドゥマン** 食品関連商材を中心としたe-コマース
茨城県筑西市下岡崎2-9-1

フロンティア

- Infocom America Inc.** 市場調査、情報収集
One Exchange Plaza 55 Broadway,17th Floor.New York,NY 10006
- フローラインフォマティクス有限責任事業組合** 腸内等の細菌プロファイリングに関する解析についての研究、及びデータベース、判定システムの開発
東京都千代田区神田駿河台3-11

ソリューション・セグメント(計14件)	
07/05	イメージシティがiモード公式サイトで携帯電話向け金融情報配信サービス「リアルタイム株価」を開始
07/05	コールセンター / CRM業界における SaaS(Software as a Service)の普及を目的にオンデマンド型コンタクトセンターASPサービス「LACTEUS」を提供開始
07/05	ホワイトパジャマが、ネットスイートとマーケティング分野で協業～ SaaSベンダーの両社が主力製品を共同で販売～
07/05	ログイットが、かんたん・高性能・安価な全文検索機能付きメールアーカイブ専用アプライアンス「ウチノBossメール」の新バージョンを発売
07/06	ログイットが、通話録音装置「Nicelog®」と連携した通話記録に対する「音声検索システム」の販売を開始
07/06	内部統制機能強化の対応における文書化作業の進捗管理ツール「内部統制ダッシュボード」の販売を開始
07/07	イメージシティが商品先物取引に関する情報の音声照会ASPサービスを開始
07/07	インフォベックが、内部統制対応機能を強化した完全Web-ERP「GRANDIT®」の新バージョンの販売を開始
07/07	インフォコム西日本が、CT検査撮影時における造影剤注入情報ゲートウェイシステム「CEエビデンスシステム」を販売開始
07/07	イメージシティがEZweb公式サイトで携帯電話向け金融情報配信サービス「リアルタイム株価」を開始
07/08	オンデマンド型コンタクトセンターASPサービス「LACTEUS」、コールセンター/コンタクトセンター分野におけるSaaSの普及を目的にプロブリッジ(株)と販売に関する基本契約を締結
07/08	ログイットが、ネットワーク上のトラフィック管理を容易に実現する多機能で安価なネットワーク・プローブ機器「LG-Probe」を販売開始
07/09	自社開発エンタープライズサーチ・ソリューションの販売を開始
07/09	インフォベックが運営する「GRANDITコンソーシアム」にベニックスソリューションが加盟

サービス・セグメント(計7件)	
07/04	ドゥマンが展開する「オーガニックサイバーストア」を「シーサーショッピング」に出店
07/07	NTTドコモのi-mode向けに、オルゴール着信メロディ専門サイト「めっちゃオルゴール」を開始
07/07	ITサービスマネジメントシステムの国際認証規格「ISO20000(ISO/IEC20000-1:2005)」を取得
07/07	NTTドコモのi-mode向けに着うたフル@配信サービス「めっちゃうたフル」をスタート
07/08	KDDIのEZweb向けに、オルゴール着信メロディ専門サイト「めっちゃオルゴール」を開始
07/08	ドゥマンが展開するオンライングルメストア「オーガニックサイバーストアYahoo!shopping店」が、Yahoo!ショッピング第5回お取り寄せグルメランキング「うまいもの王者決定戦」において、スイーツ部門第1位をはじめ5部門7商品(うち2部門は店舗として受賞)で入賞
07/08	インフォコムとUCOMがデータセンターサービスにおいて協業を開始-データセンター/ネットワーク事業に関する資源を相互活用-

フロンティア・セグメント(計1件)	
07/06	完全Web対応次世代・化合物データベース管理システム J - STRIKE™を製品化、販売へ

コーポレート関連(計12件)	
07/04	平成19年3月期 決算短信
07/04	当社グループ会社主要人事に関するお知らせ
07/04	当社役員人事に関するお知らせ
07/04	平成19年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ
07/04	大和インベスター・リレーションズ株式会社による、IRに対する高い取り組み姿勢と努力の成果を評価する「2007インターネット IR優秀企業賞」を受賞
07/05	2007年3月期 決算説明会資料、決算説明会 ストリーミング映像
07/06	有価証券報告書
07/07	平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況
07/07	有価証券報告書の訂正報告書
07/08	当社主要人事に関するお知らせ
07/08	当社主要人事異動についてのお知らせ
07/09	当社主要人事に関するお知らせ

会社の概要、社名の由来



会社の概要

商号	インフォコム株式会社
本社	東京都千代田区神田駿河台3-11
設立	1983年2月
決算月	3月
資本金	15.9億円
売上高	326億円(2007年3月期 連結決算)
社員数	1,111人(2007年3月)
上場市場	JASDAQ
銘柄コード	4348(2002年3月上場)
発行済株式	144,000株
売買単位	1株

社名の由来

1983年設立の当社は、1987年にinfocomを商号の一部に用いることとしました。情報[information]と通信[communication]が別々の概念として考えられていた当時、新たに総合的なサービスをお客様にご提供したいと考えました。



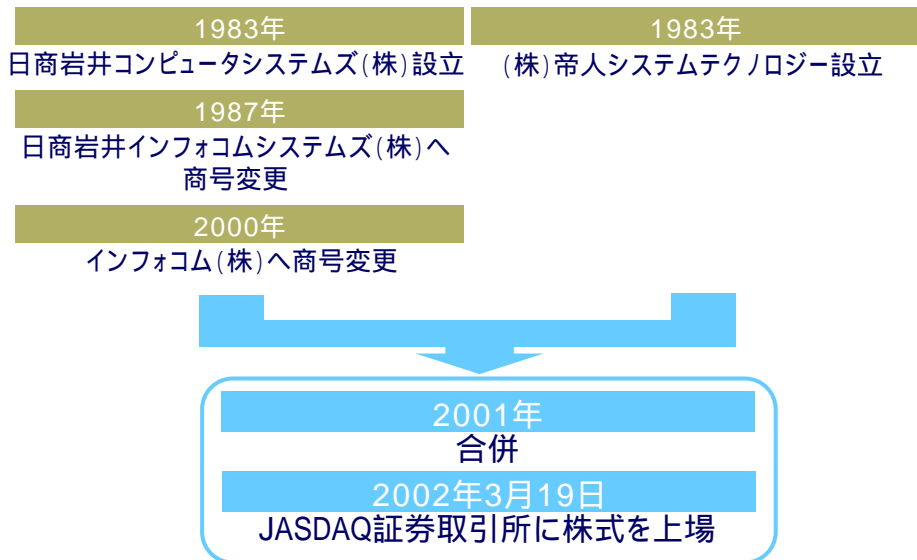
沿革、当社グループの通期及び四半期業績の特性



沿革

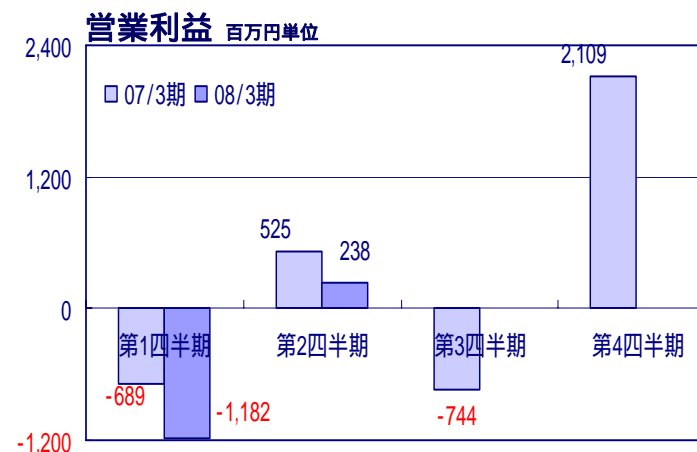
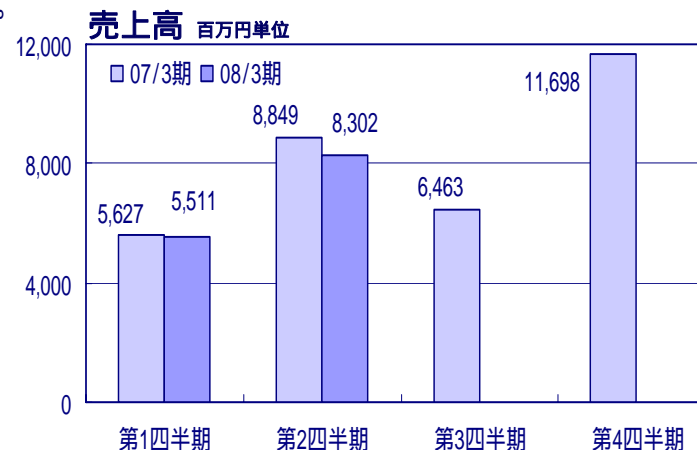
インフォコムは、1983年の設立以来、日商岩井株式会社およびそのグループ会社や、携帯電話事業者その他の一般企業などに対して、各種のITソリューションやシステム運用・コンテンツ提供などのサービスを提供してまいりました。

2001年4月に帝人株式会社の100%子会社で、ヘルスケア・ソリューション分野、電子帳票システムやナレッジマネジメントなどの自社開発ソフトウェアパッケージ製品などに特徴を有するシステムソリューションプロバイダーである株式会社帝人システムテクノロジーと、企業規模・業容の拡大、新規ビジネスによる成長加速、収益基盤の一層の強化などを目的として合併いたしました。そして、合併した同一事業年度にJASDAQ証券取引所へ株式を上場いたしました。



当社グループの通期及び四半期業績の特性

事業会計年度を4月から3までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が、年度の節目となる3月に集中する傾向にあります。こうした要因と高い主契約比率により、当社グループの業績は、売上高、利益ともに第1・3四半期が相対的に少なくなり、第4四半期に集中する傾向を有しています。



連結財務データ(通期)



経営実績

(百万円)

	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期
売上高	31,892	33,146	32,164	31,353	32,637
売上高計上基準 変更後		30,087	29,867	31,353	32,637
営業利益	2,780	2,983	2,203	1,470	1,201
経常利益	2,847	3,044	2,265	1,392	1,222
当期純利益	1,582	1,632	957	531	1,596

2006年3月期より音楽コンサートチケット等の販売に関わる売上計上基準を、販売方針の転換に伴い、「取扱高」から「販売手数料」に変更しています。

財政状況

(百万円)

	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期
総資産	15,717	18,088	18,644	18,922	20,868
純資産	8,438	9,853	10,656	11,070	12,593

2006年3月期までの数値につきましては、従来の株主資本を純資産の欄に記載しています。

キャッシュフロー

(百万円)

	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期
営業活動による キャッシュフロー	2,113	923	2,591	495	1,679
投資活動による キャッシュフロー	1,338	850	1,147	3,503	188
財務活動による キャッシュフロー	608	427	248	629	263

一株あたり情報

(円)

	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期
当期純利益	21,697.00	22,450.35	6,585.04	3,635.03	11,084.53
配当	2,000	2,200	1,200	1,200	1,600

2004年9月17日をもって普通株式1株を2株の割合で分割しております。

指標

	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期
自己資本 当期純利益率 (ROE)	20.5%	17.9%	9.3%	4.9%	13.5%
自己資本比率	53.7%	54.5%	57.2%	58.5%	59.9%

自己資本は、株主資本と評価・換算差額等を合算しています。

その他

	2003年 3月期	2004年 3月期	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期
減価償却費(百万円)	741	837	727	969	1,196
従業員数(人)	796	825	871	1,098	1,111

United Innovation info@comgroup

インフォコムグループは、
ITの進化を通じて
社会のイノベーションに貢献します。